

令和3年2月1日

京都府立北嵯峨高等学校

PTA 会長 谷口 美紀

新型コロナウイルスの感染者が確認された昨年1月から早1年が過ぎました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会に大きな影響を与え、それにより私たちの生活にも様々な変化をもたらしました。

コロナ禍前にはマスクを着用するのは、風邪を引いた時や喉が痛い時、花粉症の予防などが主な目的でした。ところが最近では、外出する際は必ずマスクを着用するようになっています。新しい生活様式に慣れ始めた今こそ、感染しない、させないために一人ひとりができることについて改めて考えていただきたいと思います。

き

近距離での会話を慎みましょう 【ソーシャルディスタンス】

た

食べるときは会話を控えましょう 【黙食】

さ

三密を避けましょう 【密閉・密集・密接】

が

学校生活を楽しめるようにみんなで工夫しましょう

【感染しない、させないための工夫】

【生徒の皆さんへ】

収束の兆しも見えず、不安な毎日だと思いますが、こんな時こそ自分を大切にしてください。家族や友達を大切にしてください。今自分ができることを一生懸命やってください。皆さんの学校生活が充実したものになるよう心から応援しています。

【保護者の皆さまへ】

保護者の皆様におかれましては、ご不安な日々をお過ごしのことだと拝察いたします。我が子を守るひとつの手立てとして、引き続きご家庭での手洗いや咳エチケットなどの徹底についてお声がけをお願いしたいと存じます。少しでも安心材料を準備することで何とかこの状況を共に乗り切ってまいりましょう。